

シリーズ 1、使える日本語力を目指して！！ 書ける力があって、初めて日本語力になる

ことばの研究所
TEL 086-486-1742
FAX 086-486-1744
kotoba_ken@yahoo.co.jp

- ※ 前号【月報 112 号】の調査結果に対する反響が、非常に大きかった。「勉強になった」とか「助詞にも意味があるのか」とか「全く考えていなかった」等の声があった。
- ※ 聞き取り調査の中で、「授業見学をしたことがあるか」や「授業記録があるか」等についても同時に行ったので、「日本語教師の質」を見る基準として、本号で紹介する。

- ※ 現場の声の中には「教育効果がない」とか「意思疎通ができない」等の声もあり、日本語教師に対する不満や疑問が多くあった。
- ※ この現状を変えたい声を上司に挙げても、上司は一向に変えようとせず、現場の声は完全に無視されてしまっていることも明かとなった。

I、【なぜ、合格率が低いのか？】

【低い合格率の原因について考察する】

(表 1 参照)

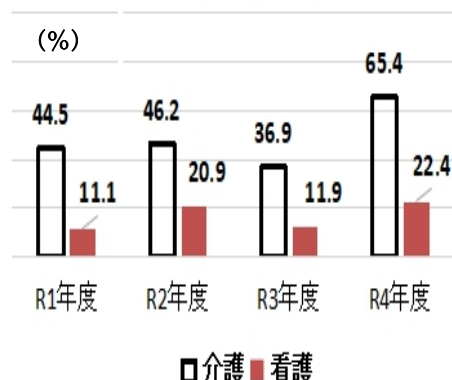
1. 暗記に頼る教育方法は、理解をせずに覚えることで、忘れてしまえば思い起こしができない記憶方法であるために、知識とならない。
 2. 対訳は、日本語の概念と異なるために、正しい理解ができない。表面では日本語だけであっても、頭の中で対訳すれば同じことだ。
 3. 日本語教師との学習時間量が多くても、【自学能力】がなければ実力は身につかない。自学することで専門知識と言葉の習得が高まる。
- ※ 上記の 3 項目が整わない限り、国家試験合格率は高まらない。

II、【なぜ、合格しても能力が発揮できないのか？】

【日本人と同様に働けない原因について考察する】

1. 文書作成能力がない人は、会話でも要点を明確にすることができない人だ。即ち、「構文力」のない人は整った文が作れない人だ。
 2. 「構文」には、音声と文字の構文がある。文字の構文力を高めれば、会話力も高まるという相互関係があることに、気付くべきだ。
 3. 【聞く・話す・読む・書く】の基本技能で最も重要な技能が書く力だ。書く力が基本の能力で、日本語力を見る判断基準となるのだ。
- ※ 文書力がない外国人は、日本人と同様の働きができない原因となる。

表1、【EPA看護・介護合格率 4年間推移】



- ※ マークシート型式の国家試験に合格しても「構文力」があるか否かは、分からない。即ち、業務に必要な日本語力が身につけているとは限らない。故に「構文力」を養う学習が必要だ。

【春季集合オンライン(ZOOM) 学習 4 月開講】

- ※ 問い合わせは、メール kotoba_ken@yahoo.co.jp でお願いします。

【目的】「言語調査」の過程の中で、技能実習・特定者の言語能力の低さに対する声が多分に寄せられました。その声に応えるため、ことばの研究所では**技能実習・特定者**が参加しやすい金額の【集合学習講座(初級)】を特設しました。

【特徴】● 「1 枠制」を取ります。「1 枠制」とは、1 施設あるいは、同系列の法人の施設で 1 枠を上限 4 人までとして集合させ、学習する方法です。その結果、授業料は年間で 18 万円となり、4 名の場合は一人あたり、45,000 円(税抜き)と魅力的な金額で受けられます。

- 割当枠は 1 コース 10 枠で、4 コースを設けます。
【集合学習】は、他施設の外国人の言語能力も比較でき、自分の言語能力の高さが実感できます。そのため、外国人自身が自分の言語能力を客観的に把握できますので、自学に目覚めて、より効果が高まるきっかけとなります。

- ※ 授業後、文書で授業内容を報告しますので、現場での指導に役立てられます。
- ※ 授業のない時、疑問や質問がある場合は、全員に LINE を登録させるので、リーダーを通して日本語で教師と会話を行うことができます。

【月 1 回 2 時間 土曜日コース】

- ★★ 「聞く・話す・読む・書く」の四つの言語技能を高め、自学方法を教える！
- 授業料： 180,000 円 (1 枠 4 名) 税別
入学金： 10,000 円 (一人あたり)
教材費： 15,030 円 (一人あたり)
10 分間テスト： 3,500 円 (一人あたり)
考察料： 10,000 円 (一人あたり)

【注意事項】 予約締切日 2 月 29 日

1. 1 枠制の場合は、必ず時間厳守が最も大切な注意事項です。枠内で欠席者が生じたり、1 枠の全員が欠席した場合は、全てカウントします。
2. 参加者全員が事前に言語能力試験【10 分間テスト】を受けますので、その能力結果によって 1 枠の中でリーダーを指名します。リーダーを中心に授業を進めますので、現場で自学する場合等は、リーダーを通じて指導していくことが重要です。
3. 集合学習の最大の目的は、自分で日本語を学ぶ【自学能力】を養います。授業では自学の仕方等を教えて、「日本語を日本語だけで学ぶ力」を習得させます。なお、言語環境を整えていくことを中心に行います。そのため、母語の使用は一切、禁じることが肝要です。

Ⅲ、「日本語教師の質」について考察する

※ 数はアンケート調査中に聞き取りした数値

1. 授業見学を断る日本語教師は、プロではない！

- 見学を断る理由の多くは、「学習者の気が散る」とか、「集中できない」等の理由を学習者側の意見としていう日本語教師が多い。これは全くの責任転換で、自己弁護をしているにしか過ぎない。見学者がいれば、第三者の声を聞けて会話に弾みがつき、集中力が高まる学習環境となることを知らない。プロでない教師ほど、第三者の見学を嫌うのだ。

2. 説明型の日本語教師は、自己満足型だ！

- 教師の教え方には、次の型がある。
 - ① 一方的で学習者の意思を無視した説明型。
 - ② 日本人感覚で、言葉の選別がない型。
 - ③ おしゃべり型で、学習目標がない型。
 - ④ 学習者に発話を促し、学習目標に導く型。
- ※ 説明型の教師は、発声量が90%以上で学習者の発話はない。学習者は一方的に聞くだけで分かった振りをして、教師だけは自己満足している。

3. パターン教育型の日本語教師は、型式偏従者だ！

- パターン教育は、次の型に分けられる。
 - ① 言葉のパターン型は、オウム返しに言わせる。
 - ② 一文のパターン型は、場面でオウム返しさせる。
 - ③ 短文のパターン型は、作った文脈で言わせる。
- ※ パターン教育型は、決まった言い方をオウム返しにさせるだけで、状況に応じて発話する能力は養えない。また、対応能力と応用能力がないために、日常会話も十分にできない。そのため、日本語文を自分で作り出すこともできない。

【教育効果が一向にあがらない！！】

- 法人全体で日本語教師が指導しているが、コロナ以降、対面からオンライン指導に切り替えたら、なかなかうまくいかなかった。受験者の反応が非常に悪く、国家試験問題の理解も悪く、模擬試験などの点数が伸びなかった。そのため、日本語教師の指導を疑って、今では教師を変えた。
- しかし、今の教師も同様に、国家試験の問題を解かせても点数が高まっていないのが実態だ。教師からの授業の報告は毎回あるが、授業を見学したことはないので、今度、実際の授業内容を確認してみるつもりだ。(東京都・M施設)

【管理団体の教育は効果がない！！】

- EPA、特定、技能の三種類を受け入れている。人数が増えれば増えるほど、人によっても能力差があるため、現場の職員が対応に混乱している。
- 日本語力が低いので、自分の言いたいことが上手く言えずに、ストレスを抱えている人も多くいるように感じる。日本語が伝わらない外国人には職員の態度も冷たくなる。日本語学習は、管理団体が行っているのに、正直、全く効果がないと考えている。(千葉県・Y施設)

図1. 授業見学の有無

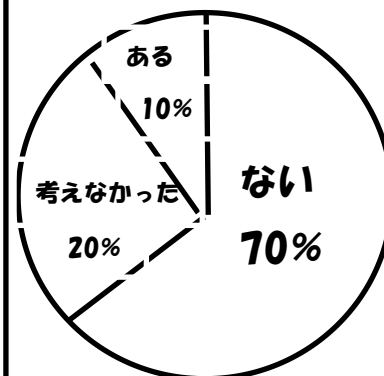
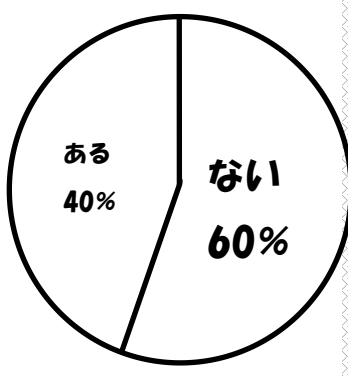


図2. 授業記録の有無



【一度も授業を見たことがない！！】

- EPAは日本語教師に任せているが、授業報告もなければ見学もしたことがなかった。受験者は「書く力もなければ、意思疎通も正確ではない」ため問題が多い。介護日誌はもちろん書けない。
- 特定・技能実習生もいるが、週一回市の日本語教室に通って、学習意欲はある。授業を見たことがないので、気になり「どんな授業を受けたの？」と質問する時がたびたびある。だが、「日本語は難しいですからね」と返ってくるだけで、授業内容は全く答えられない。
- EPAは助成金を使って学習させているのに、先生に任せっきりで職員として何も把握できていないことに不安を覚えた。ことばの研究社のアドバイスに従って、一度、見学してみようと思った。(福井県・S施設)

4. 実践教授法を持たない日本語教師は、未経験者だ！

- 日本語教師の中には養成講座420時間取得者や、検定取得者や、元学校教育経験者等がいる。しかし、外国人教育歴を見ると、未経験者が圧倒的に多く、実践教授法を身につけていない教師がほとんどだ。その結果、外国人教育経験がないために、知識と言葉の説明だけの切り売りをしている者が圧倒的に多い。
- そのため、教育効果を無視する傾向になりがちだ。教師の質を見分けるためには、授業見学をして説明型かパターン型かで見分けることができる。さらに、教師と学習者の発声量の割合が教師6割、学習者4割を目安に、未経験者か経験者かを見分けると良い。専門家の授業は、教師4割に対して学習者6割の授業が通常の授業の形だ。

5. 「書く力」を養えない日本語教師は、非専門家だ！

- ほとんどの教師が会話の仕方から始める。その始め方は、教材に従って進めている。そのため、抽象的な言葉を使ってオウム返しに発声練習をさせるため、日本語文の構造については、ほとんど学習できない。
- その結果、日本語文の構造理解がないために「書く力」は当然でせず、話す力も日本語文になり得ていない結果となる。「構文力」を養う視点が一般の日本語教師にはないためだ。よって、非専門家と言える。

施設の声

※ 今回の「施設の声」は、助詞「に・へ」アンケート調査中に聞き取った声をご紹介します。

助詞の使い方を教えない日本語教師！！

- 日本語教師が EPA を指導しているが、特に助詞の使い方が減茶苦茶で、助詞を抜かしてよく会話している。職員は何を言いたいのかが分からないことが多いので、困っている。注意をすると、「日本語教師が助詞の使い方を教えてくれない」と、受験者から不満や文句の声が出ているのが実態。（広島県・K施設）

指導している日本語教師に不信感！！

- 外国人が現場で助詞の間違いをしたら、その場ですぐに指摘するように気を付けている。しかし、直しても、繰り返し同じ間違いをして直らない。なぜできないのか、教師をつけて継続的に学習をさせているにも関わらずできないのは、日本語指導に問題があると最近、思うようになった。（愛知県・H施設）

日本人も外国人も構文能力がない！！

- 日本人職員も文を書く時に助詞を間違えて書く人が結構いるので、私が直している。どうしてこんな文になるんだろうか、と思ってしまう時がある。特に、最近の若者は新聞や本を読まない傾向にある。マークシート方式だとただ記号を選択するだけで文を書くことがないので、日本人の能力も下がっていると実感している。だから、外国人にとっては、日本語文を書くことは難しいだろうと思う。（青森県・M施設）

外国人の対応は正しい日本語で！！

- 職員の助詞の使い方が間違っているのが多い。特に、若い人はSNSのやりとりや、ゲームをしている人が多くて、新聞や本を読んでいないことが原因だと思う。日本語力の不十分な職員が、外国人に対応してしまうと、間違った日本語の使い方を正しいとして覚えてしまことが心配だ。（福井県・S施設）

文が書けないので、手間がかかりすぎる！！

- 業務中、意味不明の日本語が使われても、その度に質問したり、確認したりしている。互いに曖昧なまま、分かったつもりになってしまっている。いずれは、介護日誌を書かせるので、今は練習のために、「日記」を書かせている。だが、文になってないし、意味も分からない。会話とは違い、訂正する時には、質問もできないので、修正するのも時間と手間がかかり、正直、苦勞している。（埼玉県・I施設）

学習しても日本語に良い変化がない！！

- EPA は学習時間を取って、日本語学習をしているのに、日本語に良い変化がない。また、助詞を使って話せない人の方が圧倒的に多いので、それが当たり前になっている。職員もその都度、間違いを指摘すれば良いのだが、指導の時間が取れないのが実態だ。この現状を変えたくても経営者が変えようとしないので、諦めている。（茨城県・Y施設）

方言が通じない外国人！！

- 外国人は本当に助詞抜けが多い。文にならず、単語の羅列で話しているだけだ。こんな状態で方言を使うので、外国人には通じないから、職員は極力、標準語を使うようにしているけど、ダメだ。意識しないとすぐ方言を使ってしまうので、正直、疲れ果てる。（香川県・H施設）

母国と日本で研修を受けても、この程度か！！

- 二か国の外国人がいるが、単語を並べて話しているだけで、助詞の使い方が間違っているというレベルに達してない。外国人との意思疎通ができないので、職員の苦勞が絶えない。
- 母国と国内で 100 時間以上も研修を受けているのに、レベルが低過ぎる。なぜだろうか、今までの日本語教育に対して、大きな疑問を持っている。こんな状態では、とても利用者対応を任せるわけにはいかないのが実態だ。（和歌山県・P施設）

言いたいことを勝手に解釈した自分が悪い！！

- 助詞に限らず、外国人の日本語がおかしいなと気づいても、指摘していなかった。日本語は難しいから仕方がないと思って対応していた自分も悪いと思う。さらに、間違っているけど、相手が言いたいことを勝手に解釈してしてしまうのが、一番まずかったと思っている。その結果、相手の日本語力がいつまでたっても良くなりないとやっと気付いた。（東京都・S施設）

分かったつもりは罪だ！！

- 今回の月報を読み、助詞の意味があるとは知らなかったし、多くの日本人は知らないのではないかととても勉強になった。外国人は助詞を正しく使えない人が多い。助詞抜けの会話で職員が分かったふりをして、対応している。文で書かせても助詞を使っていないから、「こういうことなのかな？」と勝手に考えている。会話と文の間違いをその都度正していないため、成長しないのは私の罪だ。
- 最近の若い職員も文が書けない人が多く、誤字も脱字も多くて、外国人だけの問題ではない。だから、私は日本人と外国人両者を対応しないといけない状態にある。管理職となると、大変な苦勞が多い。（和歌山県・T施設）